

(社) 日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会  
第6回 LLW廃棄体等製作・管理分科会 (F9Ph2SC) 議事録

1. 日時 2008年6月30日 (月) 13:00~14:50

2. 場所 日本原子力発電(株) 第7会議室

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

(出席委員) 阿部 (主査), 岡本 (副主査), 柏木, 河西, 坂下, 桜井 (6名)

(代理出席委員) 山本 (関口幹事代理), 熊野 (三本木代理), 水井 (高橋代理), 大間 (土生代理), 大塚 (伊) (古谷代理), 大塚 (久) (山田代理), 浦上 (脇代理) (7名)

(欠席委員) 大浦, 中山 (2名)

(常時参加者) 伊藤, 野口, 菊池, 御子柴, 三根, 山田 (隆), 大内 (八木代理) (7名)

(欠席常時参加者) 明里, 駒月, 藤井, 杉山 (4名)

(事務局) 岡村

4. 配付資料

F9Ph2SC6-1 第5回 LLW 廃棄体等製作・管理分科会議事録案

F9Ph2SC6-2 標準委員会の活動状況

F9Ph2SC6-3 製作準備段階の記載形式について (案)

F9Ph2SC6-4 廃棄体製作における製作段階の管理について (案)

F9Ph2SC6-5 分科会の進め方について (案)

F9Ph2SC6-6 「L1 廃棄体の製作に係る基本的要件」標準案

F9Ph2SC6-参考1 標準本体、付属書(規定/参考)及び解説の全体構成について(案)

5. 議事

(1) 出席委員の確認

事務局より, 開始時点で代理出席委員を含め 13 名の委員の出席があり, 分科会成立に必要な委員数 (10 名以上) を満足している旨の報告が行われた。

(2) 標準委員会の活動について (F9Ph2SC6-2)

事務局より, 標準委員会の活動状況について, 説明が行われた。

(3) 前回議事録の確認 (F9Ph2SC6-1)

事務局より, 第5回 LLW 廃棄体等製作・管理分科会の議事録 (案) が紹介され, 承認された。

(4) 製作準備段階の記載形式について(案)(F9Ph2SC6-3, 参考1)

F9Ph2SC6-3に沿って、御子柴常時参加者より、廃棄体製作工程毎の品質確認項目一覧表の紹介と、これを基に確認項目をグルーピングしてとりまとめた製作準備段階の品質確認方法記載イメージについて説明が行われ、審議の結果廃棄体製作工程を意識して再度グルーピングや記載形式について整理することとなった。

主な議論等：

- ・ グルーピングはこの3種類で良いと考えるが、表1を見ると何度も同じ項目が出ており、また、「製作標準」の引用が繰り返し出ているので、このあたりの整理が必要である。
  - 指摘のとおりなので、項目をまとめることとしたい。
- ・ 標準案の本体は、標準の利用者のことを考慮すると、各ステップ毎に“何を、誰が、どの段階で、どのように確認し、記録するか”ということを記載すべきである。
- ・ 誰が使うかを考えないと使いにくいものになる。本標準と廃棄体製作の基本要件とのつながりが分かるようにすべき。具体的には、製作の基本要件を引用した箇所は「基本要件の…から引用」等、明記すべきである。
  - 製作の標準との対応を明らかにすること。
  - 拝承
- ・ 廃棄体製作の基本要件を参照する際には、規定と附属書、解説の参照元については読者にわかりやすいよう、明記すること。また、構成については、対象物、実施時期などのまとまりを意識して整理してほしい。
  - 合本の際、製作標準で解説、附属書に記載していたものについても必要なものは規定化することを考えておくこと。
- ・ 輸送容器の標準を参考にしたとのことだが、輸送容器は繰り返し使用するものであるのに対し、廃棄体製作は1体毎若しくは初期に1回の確認などと異なるため、頻度や回数、ロット管理等について、輸送容器との違いを考えて整理すること。

(5) 廃棄体製作における製作段階の管理について(F9Ph2SC6-4)

柏木委員より、F9Ph2SC6-4に沿って、廃棄体製作における製作段階の管理について説明が行われた。

審議の結果、本案をベースに今後必要な見直しを行っていくこととなった。

主な議論等：

- ・ p. 8, 9に保守管理の基本要領が記載されているが、性質、目的の異なるものが同じレベルで記載されている。それぞれ、法令要求、品質確認上の要求、保安上の要求、設備の性能維持の要求といった目的があるが、本標準の目的からすると、重み付けがあった方がよい。
- ・ 放射能濃度の測定については何か考えているのか。
  - 最終的には、放射能評価の分科会の成果をもとに管理項目を取り込みたいと考えている。

(6) 分科会の進め方について(案)(F9Ph2SC6-5)

F9Ph2SC6-5に沿って山本幹事代理より、今後の進め方が説明され、了承された。

(7) L1 廃棄体製作方法に係る要件標準案の変更案(F9Ph2SC6-6)

F9Ph2SC6-6に沿って、大塚(久)委員代理より「余裕深度処分対象廃棄体の製作に係わる基本的要件」標準案について、前回コメントに対応して修正した部分の説明が行われ、了承された。

さらに、阿部主査より本標準案をもって原子燃料サイクル専門部会、標準委員会に中間報告することが提案され、全会一致で承認された。

6. その他

次回分科会は、7月下旬、日時は別途調整することとした。

以上